

# メバチ 大西洋

Bigeye Tuna, *Thunnus obesus*

## 管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

## 最近の動き

2015年7月にICCATで資源評価が行われた。その結果を受けて、2015年11月に開催されたICCAT年次会合にてTAC削減等を含む管理措置が決定された。

## 生物学的特性

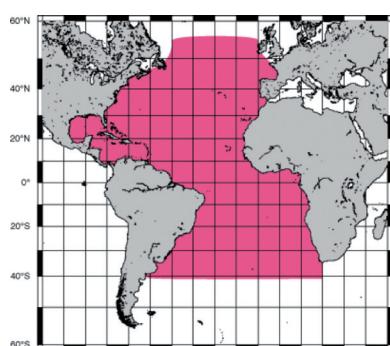
- 体長・体重：尾叉長約2.0m・約200kg
- 寿命：10～15歳
- 成熟開始年齢：3歳（120cmで大部分が成熟）
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：特定の海域・時期の報告はない
- 食性：魚類、甲殻類、頭足類、他のまぐろ類よりハダカイワシ・ムネエソ等の中深層性魚類が多い
- 捕食者：大型のまぐろ・かじき類、さめ類、鯨類

## 利用・用途

刺身、すし、缶詰などに利用されている。

## 漁業の特徴

本種は主にはえ縄、竿釣り、まき網によって漁獲されてきた。主として成魚を漁獲するはえ縄が漁獲の大部分を占めてきたが、大西洋は他の大洋と異なり、従来からまき網や竿釣りによる漁獲が比較的多い。まき網がFADs操業を開始した1991年以降、小型魚漁獲が増加した。



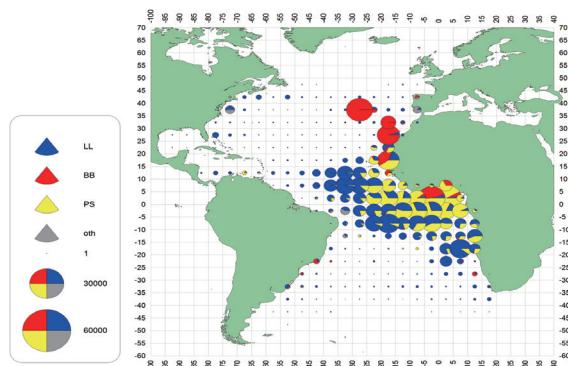
大西洋におけるメバチの分布

## 漁獲の動向

総漁獲量は1994年に過去最高の13万トンに達したが、その後徐々に減少して、2005年以降は7万～8万トンで推移し、2015年の総漁獲量は7.9万トン（予備集計）で前年からやや増加した。2015年現在、はえ縄の漁獲は全体の約半分（50%）であり、まき網の漁獲（37%）が近年増加傾向にある。メバチの平均体重は、はえ縄で45～60kg、竿釣りで20～30kg、まき網で3～4kgである。

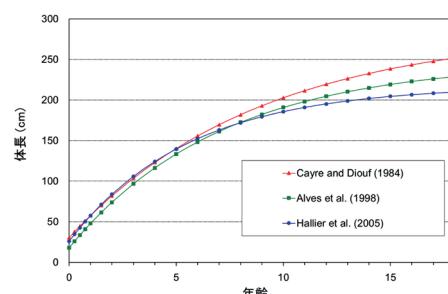
## 資源状態

ICCATの科学委員会は、2015年に資源評価を実施し、ASPIICとSS3による結果を等しい重み付けで統合したものを利用した。結果として、MSY: 6.8万～8.5万トン（中央値7.9万トン） $F/F_{MSY}$ : 0.62～1.85（中央値1.28）、 $B/B_{MSY}$ : 0.48～1.20（中央値0.67）と推定され、資源状態は乱獲及び過剰漁獲とされた。なお、会議レポートにおいて、評価結果はすべて相対値で示されていた。2015年時点のTAC(8.5万トン)を維持した場合、2028年に資源が乱獲及び過剰漁獲でなくなる確率はおよそ30%とされた。



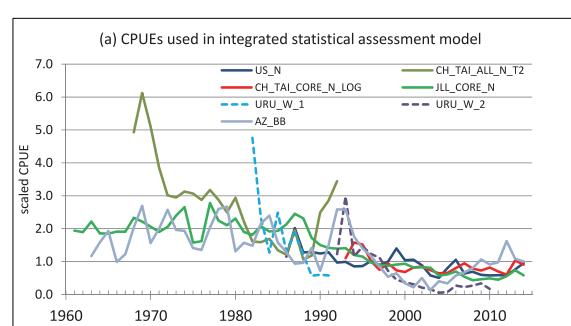
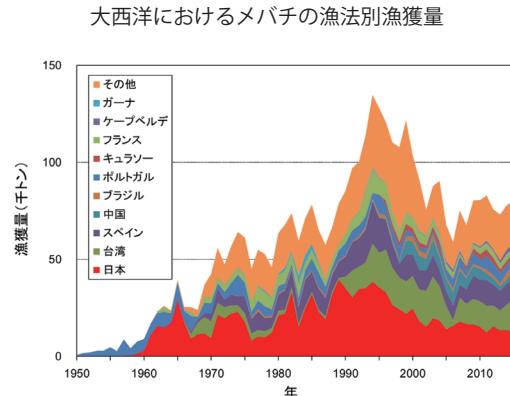
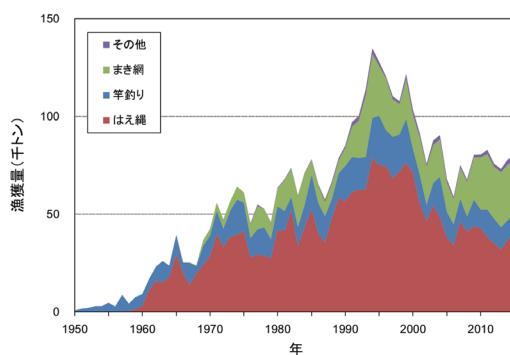
主要なまぐろ漁業による大西洋におけるメバチの漁獲分布（2010～2014年）(ICCAT 2016)

青：はえ縄、赤：竿釣り、黄：まき網、白：その他。凡例の丸は上から30,000トン、60,000トン。

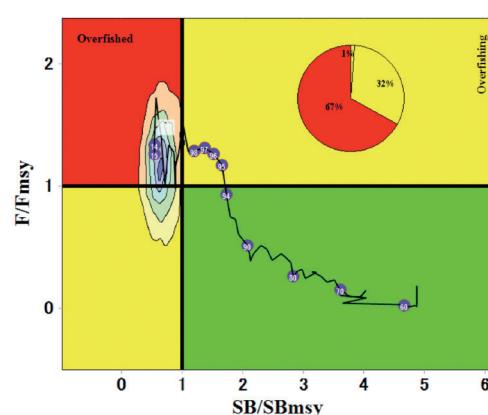


標識放流 (Cayré and Diouf 1984)、脊椎骨 (Alves et al. 1998) 及び耳石 (Hallier et al. 2005) から推定されたメバチの成長式

管理方策	管理方策のまとめ												
<p>2015年に実施した ICCAT 年次会合において資源管理措置を決定した。漁獲能力制限として、主要漁業国のはえ縄及びまき網における全長 20 m 以上の漁船における年間操業隻数が制定されている。毎年の TAC は 6.5 万トンに設定し、各国に漁獲枠が割り振られている。メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における FADs を含めた付き物操業の禁漁期、禁漁区域は、2015年の年次会合で変更され、若干拡大（南緯 4 度、北緯 5 度、西経 20 度、アフリカ大陸で囲まれた海域において、1月 1 日～2月 28 日。2017年1月から適用）され、同禁漁期／区で操業するまき網や竿釣り船には、引き続きオブザーバーの乗船が義務付けられる。また、FAD 数を 1 隻当たり一度に 500 基までとする。2002年4月から、統計証明制度（輸入には漁業国の中証書が必要）が開始されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2016～2018年 TAC は 6.5 万トン、主要国の漁獲量割り当て及び隻数制限。</li> <li>■ ギニア湾周辺における 2か月間の FADs を含めた付き物操業の禁漁。</li> </ul>												
資源状態のまとめ													
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2015年に資源評価実施、SS3 及び ASPIC の結果により管理勧告。</li> <li>■ MSY : 6.8 万～8.5 万トン（中央値 7.9 万トン）、<math>F/F_{MSY}</math>: 0.62～1.85（中央値 1.28）、<math>B/B_{MSY}</math>: 0.48～1.20（中央値 0.67）。</li> <li>■ 資源は乱獲及び過剰漁獲で低位、横ばい傾向。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資源水準</th><th>低 位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資源動向</td><td>横ばい</td></tr> <tr> <td>世界の漁獲量 (最近 5 年間)</td><td>7.3 万～8.3 万トン 最近 (2015) 年 : 8.0 万トン 平均 : 7.8 万トン (2011～2015 年)</td></tr> <tr> <td>我が国の漁獲量 (最近 5 年間)</td><td>1.2 万～1.5 万トン 最近 (2015) 年 : 1.2 万トン 平均 : 1.3 万トン (2011～2015 年)</td></tr> <tr> <td>最新の資源評価年</td><td>2015 年</td></tr> <tr> <td>次回の資源評価年</td><td>2018 年 (予定)</td></tr> </tbody> </table>	資源水準	低 位	資源動向	横ばい	世界の漁獲量 (最近 5 年間)	7.3 万～8.3 万トン 最近 (2015) 年 : 8.0 万トン 平均 : 7.8 万トン (2011～2015 年)	我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	1.2 万～1.5 万トン 最近 (2015) 年 : 1.2 万トン 平均 : 1.3 万トン (2011～2015 年)	最新の資源評価年	2015 年	次回の資源評価年	2018 年 (予定)
資源水準	低 位												
資源動向	横ばい												
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	7.3 万～8.3 万トン 最近 (2015) 年 : 8.0 万トン 平均 : 7.8 万トン (2011～2015 年)												
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	1.2 万～1.5 万トン 最近 (2015) 年 : 1.2 万トン 平均 : 1.3 万トン (2011～2015 年)												
最新の資源評価年	2015 年												
次回の資源評価年	2018 年 (予定)												



AZ\_BB : アゾレス諸島の竿釣り CH\_TAI\_ALL\_N\_T2, CH\_TAI\_CORE\_N\_LOG : 台湾のはえ縄、JAP\_LL : 日本のはえ縄、UR\_W\_1, UR\_W\_2 : ウルグアイのはえ縄、US\_N : 米国のはえ縄



$B/B_{MSY}$  と  $F/F_{MSY}$  の経年的プロット (ICCAT 2015)